

サバイバル踏破 1 日目（8 月 5 日）



5 日目。いよいよサバイバル踏破 1 日目をむかえました。夜も明け切らない時間から、各班の計画に沿って、ほぼ予定どおりに B C を出発しました。時間が経つにつれて、気温はぐんぐん上がり、暑い 1 日でした。そのため、十分注意していたはずの水分補給が足りなかった参加者がいて、調子を崩してしまうこともありましたが、全体としては、すべての班が順調に進み、辛いこと、止めたいこと、仲間とうまくいかないこともありましたが、V L 中心に、無事ビバーク地に到着しました。

サバイバル踏破 2 日目（8 月 6 日）



6 日目。早朝からビバーク地を出発しました。前日に続き、とても暑い 1 日となりました。2 日間の踏破で、仲間の大切さ、協力することで得られる大きな達成感、また島民の方々からの温かい励ましの声にありがたさを感じました。苦しいときも、足が痛くて止まりたいときも、お互いに声を掛け合ったり、歌を歌ったりしながら、みんなですぐ楽しく支え合いながら、B C に向かって歩き続けました。

サバイバル踏破達成！（8月6日）



全員で支え合いながら歩き続けることのできた達成感とゴールテープを切ることのできた感動は、忘れることのできない思い出になりました。ゴールした瞬間、今まで我慢してきた辛さや頑張りきれた自分に、そしていつも励まし続けてくれた仲間に、一気に涙がこぼれ落ちる参加者もいました。みんなでゴールしたい、みんなで達成したい。そんな思いを持ちながら歩き続けたサバイバル踏破は、参加者たちに大きな「感じる心」を育むことができました。

自主企画（8月7日）



7日目。それぞれの計画で八丈島を楽しむ自主企画の日となりました。早朝より「釣りグループ」は神湊港へ向かい、たくさんの魚が釣れました。「登山グループ」は、八丈富士からふれあい牧場へのコースを計画し、残念ながら濃い霧の中での登山となりましたが八丈富士を満喫しました。底土海岸で行われた「スノーケリンググループ」は、潮が引いた時間だったこと、海が澄んでいたことから海中生物をたくさん見ることができました。「島内探訪グループ」は、自転車を利用して八丈ならではの体験・訪問を楽しみました。

八丈島の小中学生との交流会Ⅱ（8月7日）



この日の午後、台風5号の影響でBCに強い風が吹き続けました。テントが舞ってしまう恐れ、さらにはテント泊の危険性を考え、八丈町教育委員会の方々の協力を得て、三根小学校体育館で宿泊することにしました。そのため交流会は、場所を三根小学校に変更し、各班ごと交流バイキングを楽しみました。みんなで調理し、お互いの料理を食べ合うことで、たくさんの交流をすることができました。次は山梨で会うことを約束して、楽しい交流会の時間を無事に終えることができました。

閉村の日（8月8日）



8日目。とうとうむかえてしまった閉村の日。前日の強風で三根小学校に移動したため、体育館での朝のつどいが閉村式を兼ねたものとなりました。垂戸BCへ移動し、説明を受けた後、撤収作業を行いました。今までの生活を思い出しながら、あっという間に撤収を終えました。少しさびしい感じもありましたが、大きな感謝をしながら、BCをあとにしました。午後は2グループに分かれ、「お土産の購入」と「温泉入浴」の時間を交互に済ませ、三根小学校に戻り八丈島最後の夜を迎えました。

さよならレセプション・第1部（8月8日）



八丈島最後の夜、現地研修最終プログラムの「さよならレセプション」を迎えました。第1部では、みんなで作る最後の食事をおいしくいただきました。そして、「六人会」の皆さんによる「八丈太鼓」の演奏を聴き、体中に響く迫力の太鼓の音は、知らず知らずのうちに太鼓の世界に引き込まれていきました。

さよならレセプション・第2部（8月8日）



第2部では「八丈島のできごと」をテーマとして、各班が「スタント」を発表し、楽しみました。どの班のスタントもとても工夫が凝らされ面白く、みんなを楽しませてくれました。最後に、みんなで肩を組んで「忘れられない夏・愛のテーマ」を大合唱しました。この合唱はきっと一生の思い出になったと思います。あっという間の9日間。こうして八丈島最後の夜も更けていきました。

離島式（8月9日）



9日目。離島の日を迎えました。2泊させていただいた三根小学校に感謝の気持ちを込めて、念入りに清掃しました。台風の影響で船の時間が早まり、慌ただしく底土港へ移動し離島式を行いました。そこでは参加者代表が、大変お世話になった八丈町教育委員会のみなさんに心を込めて感謝の言葉を伝えました。その後、きれいな八丈富士を背景に最高の仲間たちとの記念写真を撮り、八丈島の多くの方々に見送られて乗船しました。

最終班別ミーティング（8月9日）



船内での夕食後、最後の班別ミーティングを行いました。現地研修の感想や班の仲間への想いを輪になって語り合いました。それぞれが自分で自分なりの言葉で伝えていました。じっくりと時間をかけて9日間を振り返ることができたと思います。

解団式（８月９日）



橘丸から下船し、最後の「解団式」を行いました。団長からは現地研修を締めくくる話しをいただき、参加者代表・V L代表からそれぞれの想いを詰め込んだお話しをしていただきました。この９日間は、とても良い海洋道中であったとあらためて感じることができました。最後は「忘れられない夏・愛のテーマ」を全員で合唱し、やまなし少年海洋道中現地研修の最後をむかえました。

ありがとう、八丈島（８月９日）



今年度３０周年をむかえた「やまなし少年海洋道中」現地研修は、参加者１人１人にとっても大きな成長と成果を残して、幕を閉じました。八丈島では台風の影響でプログラムを変更しなければならないときが、たびたびありました。そのとき八丈町教育委員会のみなさんの大きな協力、さらに八丈島の島民の方々の暖かく優しい声かけに、何度も元気をもらいながら過ごして行くことができました。参加者それぞれが大きく成長することのできた八丈島に感謝しながら、今年度の「でっかい体験」は無事に幕を閉じました。